

**西村真琴** 科学解説者、社会事業家。科学ジャーナリズムを先駆し、日本初のロボット「学天則」を生み、児童保育にも献身。

にしむらまこと

岩倉具視没・1883 = 長野県東筑摩郡里山辺村(松本市)で、代々庄屋で維新後も町村連合会議長までつとめた西村源逸の次男に生まれる。母はせつ。幼名は勇。

**帝国憲法発布**1889 = 6歳 : 里山辺尋常小学校に入学。  
内気で休みがちであったが、  
足尾鉞毒始・1891 = 8歳 : 真琴と改名してからは、成績も急上昇し、  
大本教・・・1892 = 9歳 :

**日清戦争始**・1894 = 11歳 :

父が死去が死去して家計が苦しくなるも、母が内職して支えてくれ、

**Bushidou**・・・1899 = 16歳 : 松本中学にトップで入学。

田中正造直訴1901 = 18歳 :

人格者だった校長小林有也から強く感化されて、

**日露戦争始**・1904 = 21歳 : 卒業。長野県下で唯一人広島高等師範学校に入学し、

**日露戦争終**・1905 = 22歳 :

長野出身でのち教育学者となる長田新と親友になる。

**アヲヲ** 創刊・1908 = 25歳 :

博物学科を卒業、京都乙訓の小学校代用教員となり、教員免許取得するや校長となるが、

**韓国併合**・・・1910 = 27歳 :

突然、満州に渡りたくなり、認められて、  
渡満し、南満州遼陽尋常高等小学校長となる。

**明治天皇没**・1912 = 29歳 :

奉天に設立された南満医学堂の生物学教授に招かれる。

医学生を連れて"蝸牛旅行"で満州全体を歩き回って、生物分布調査や標本採集に取組み、寄宿舎舎監として学生たちの生活も指導。この間、従妹の手塚かずをと結婚。デンマークの植物の泰斗エナンデルが来日した際、強引に挨拶して刺激受け、

21ヶ条要求・1915 = 32歳 :

渡米し、コロンビア大学植物学専攻科に入学。在籍のまま文部省派遣となる。

ニューヨーク自然史博物館に満州の蛇標本を寄贈したことから、調査研究員を委嘱され、採集にも従事。

本格政党内閣1918 = 35歳 :

ニューヨーク自然史博物館に満州の蛇標本を寄贈したことから、調査研究員を委嘱され、採集にも従事。  
M.A(人文学修士)を得、

**ハルビン条約**・1919 = 36歳 :

大暴落・・・1920 = 37歳 :

Ph.D(哲学博士)を取得。引き続き文部省からの派遣で、生物学研究のため欧米各地を回って、

**原敬首相暗殺**1921 = 38歳 :

帰国。この間出会った新渡戸稲造に認められ、北海道帝国大学に招かれて教授となり、マリモを知る。

水平社結成・1922 = 39歳 :

蘭領東インドの調査に参加して刺激を受ける一方、原始林での子どもたちのキャンピングを始め、

**関東大震災**・1923 = 40歳 :

のちに俳優となる次男晃が誕生。摂政殿下(昭和天皇)の来北の台覧に供するため、阿寒湖でマリモ採取。

護憲三派圧勝1924 = 41歳 :

「夏期大学」や「森の学校」開催を実現。牧野富太郎の「日本植物図鑑」編集の苦勞聞いて、植物標本を寄贈。

治安維持法・1925 = 42歳 :

この年、外山卯三郎中心に創刊された詩と版画の雑誌{さとぼろ}に参加、詩や絵の才能も開花させ、

円本時代始・1926 = 43歳 :

自ら編集発行人となる。「毎日新聞」五十年後の太平洋論文へ応募、

金融恐慌・・・1927 = 44歳 :

「選外佳作となったものの、社長の本山彦一が関心を示し、その勧めで最初の著作「水の湧くまで」を出版するや大好評、ジャーナリストになろうと決意し北大辞職して大阪毎日新聞に入社。直前に、マリモの研究で東京帝大から理学博士号、札幌で(西村真琴作品展覧会)があり、絵が売れて得た収益全てをアイヌ民族救済のために寄付。

共産党事件・1928 = 45歳 :

毎日新聞のプロジェクトで、ロボット「学天則」を制作し、京都の昭和天皇御大礼記念博覧会に出品、話題沸騰し、朝鮮博覧会などでも公開されるが、以後その所在は不明になる。

海軍軍縮条約1930 = 47歳 :

「農業未来記」。\*「大地のはらわた」がベストセラー、科学とジャーナリズムの融合の先駆となる。

**満州事変**・・・1931 = 48歳 :

北千島を学術探検。

五一五事件・1932 = 49歳 :

上海へ児童親善使節団を引率した際、事変で廃墟となった三義里の鳩を救って連れ帰り、自宅で飼育、

国際連盟脱退1933 = 50歳 :

「科学随想」。鳩がテンに襲われて死ぬと、庭に重光葵揮毫による碑「三義塚」を建立。親交する島崎藤村がエッセイにし国語教科書に載って広く知られる。

帝人疑獄事件1934 = 51歳 :

「新しく観た満鮮」。

芥川直木賞始1935 = 52歳 :

「話題の科学」。母80記念に「凡人経」。松本中学創立五十周年記念講演会で、小林校長の思い出を語る。

二二六事件・1936 = 53歳 :

「科学綺談」。長田新らの協力得て\*大阪毎日新聞社社会事業団内に全日本保育連盟を結成し理事長に就任。

**日中戦争始**・1937 = 54歳 :

全日本保育連盟機関誌{保育}を創刊。大阪で全日本保育大会を開催し、政府への陳情書をまとめる。

健保+総動員1938 = 55歳 :

四天王寺悲田院内に{民国窮民孤児援護会}を設けるほか、{保育講習会}{保育展覧会}、

第二次大戦始1939 = 56歳 :

「幼稚園保育の義務教育化」パンフレット作成し、国会議員に配布、まさに幼保一元化を先駆。中国の戦災孤児救済の{隣邦児童愛護会}を結成し理事長に就任、  
{母子郊外趣味の会}など、次々展開して行くが、

大政翼賛会・1940 = 57歳 :

**日米開戦**・・・1941 = 58歳 :

**敗戦**・・・1945 = 62歳 :

\*敗戦となり、大阪毎日新聞社を退社。ユニークな連載してきた{保育}はじめ、全てが終わってしまう。

新憲法公布・1946 = 63歳 :

大阪毎日社会事業団常務理事を辞任。

新憲法施行・1947 = 64歳 :

大阪府豊中市市議会議員に最高点で当選し議長となるも、妥協許さず、1年で辞職。

三大事件・1949 = 66歳 :

第2代豊中市公民館長となる。運営は主事に任せて、視聴覚教材づくりにつとめ、

**独立回復**・・・1951 = 68歳 :

スライド「蛙の観察」は文部省の第1回コンクールで最優秀作品。科学映画「阿寒湖のまりも」を制作。

TV放送始・・・1953 = 70歳 :

公民館長を退任。神戸の頌栄短期大学教授となり、生物学・保育等を教授。

**55年体制始**・1955 = 72歳 :

10年前に夭折した三男昭三を偲んで「親子の自然研究」を自費出版。

国連加盟・・・1956 = 73歳 :

豊中市で没した。

のち、「三義塚」は日中友好のシンボルとして豊中市市民会館に移設される。